

計画の概要

計画策定の背景・目的

多摩市内には多様な公共交通が運行しており、市民の生活を支えています。一方で、公共交通事業者における深刻な乗務員不足・乗務員の高齢化などの問題も抱えており、将来にわたって、利便性の高い公共交通ネットワークを確保・維持するためのマスタープランとして、「多摩市交通マスタープラン」を策定します。

計画の位置づけ

本計画は、上位計画となる「多摩市第六次総合計画」に即し、関連する各種計画との整合を図ります。

計画の対象区域

多摩市全域

計画期間

令和 8 年度～令和 1 4 年度までの 7 年間

多摩市地域公共交通が目指す将来像

< 基本理念 >

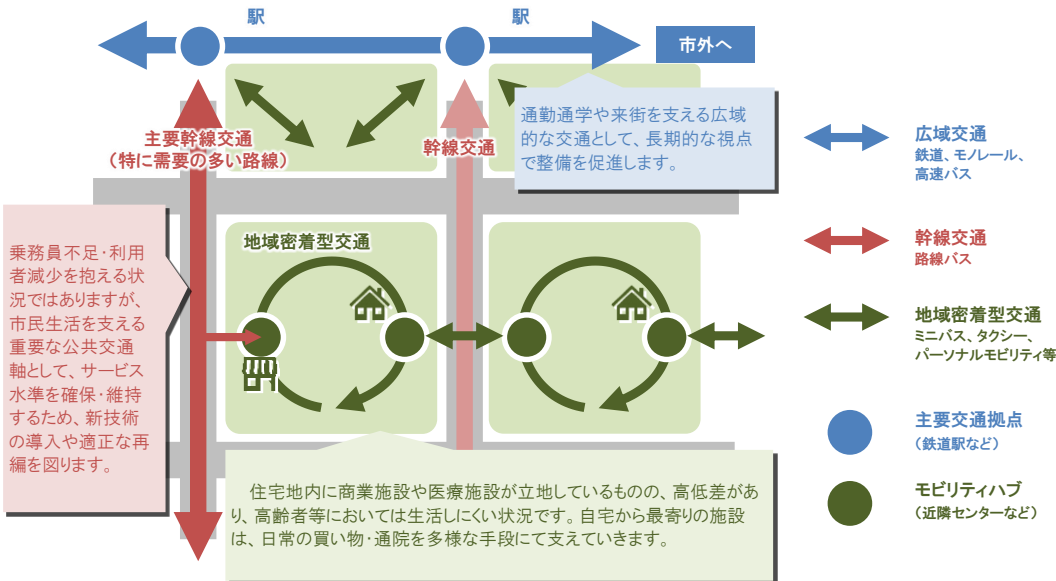
どこにいらしていても 子どもからお年寄りまでが  
安心・安全に どこへでも快適に移動できる

計画目標① 市外へ・市外からの移動を支える広域交通の維持・拡充

計画目標② 市内主要拠点への移動を支える幹線交通の維持

計画目標③ 身近な移動を支える地域密着型交通の充実

計画目標④ 多様な交通をシームレスにつなぐ交通環境の充実



目指す将来像の実現に向けた課題

広域交通の維持・拡充に向けた課題

課題 1 - 1 関係者との継続的な協議が必要

幹線交通の維持に向けた課題

課題 2 - 1 乗務員不足への対応が必要

課題 2 - 2 路線バスの収入増が必要

課題 2 - 3 収支構造の適正化

課題 2 - 4 事業者間の役割分担

地域密着型交通の充実に向けた課題

課題 3 - 1 ミニバスの担い手の確保

課題 3 - 2 ミニバス・路線バスとの役割分担

課題 3 - 3 ミニバスの収入確保

課題 3 - 4 タクシー乗務員の確保

課題 3 - 5 近距離移動の支援

交通結節点の充実に向けた課題

課題 4 - 1 バスターミナルの快適性向上

課題 4 - 2 居住地域内における交通結節機能の向上

事業一覧

※事業詳細は次ページを参照

事業		実施主体	計画目標との関連			
			計画目標①	計画目標②	計画目標③	計画目標④
1	交通事業者との協議	市	●	●		
2	関係機関との協議	市	●			●
3	【重点事業】公共交通の担い手確保・環境整備	市・交通事業者		●	●	
4	【重点事業】ミニバスの再編	市・交通事業者			●	
5	【重点事業】タクシー活用	市・交通事業者			●	
6	パーソナルモビリティの導入検討	市			●	
7	【重点事業】公共交通同士や多様な移動手段との連携強化	市・交通事業者				●
8	公共交通の利用促進	市・交通事業者	●	●	●	



## 事業 1

- 

## 事業 2

- 東京都

# 東京都 カスターマハメント防止条例

が施行されます

4月1日  
施行  
95%

東京都  
カスターマハメント防止条例

**営業店での飲食サービスが禁止**

**人混みで飲食禁止**

**営業店での飲食サービスが禁止**

**飲食サービスが禁止**

**飲食サービスの提供を禁止**

**飲食サービスの提供を禁止**

**飲食サービスの提供を禁止**

**飲食サービスの提供を禁止**

**対策を立案しましょう**

お互いに尊厳を脅かす持続可能な社会へ

東京都  
カスターマハメント防止条例

東京都  
カスターマハメント防止条例

東京都  
カスターマハメント防止条例

東京都  
カスターマハメント防止条例

東京都  
カスターマハメント防止条例

東京都  
カスターマハメント防止条例

### 事業 3

- 市と交通事業者が連携した求人募集 / 働きやすい環境の整備 / 地域主体の交通サービスの検討 / 自動運転技術の研究

## 事業4

- 
- A photograph of a road scene. On the right side, there is a parking lot with several cars, including a white one and a blue one. A red circle is drawn on the road surface, highlighting a specific area. The road is paved and has a white line marking. In the background, there are trees and a clear sky.

図 住宅地内における  
タクシー待機場所整備の例

## 事業 5

- ＜取組例＞  
住宅地内におけるタクシー待機場所の整備 /  
タクシーチケット配布の検討

## 事業 6

- 住宅地から近所のスーパー等への近距離のおでかけを便利にするため、住宅地内の空閑地等を活用した、電動車いすのシェアリングサービスやシェアサイクル等の導入検討を行います。

## 事業 7

- ＜取組例＞  
交通結節点における連続性の確保 / 乗継割引等の検討 / モビリティハブの整備

## 事業 8

- ＜取組例＞  
利用啓発チラシ等の作成 /  
利用機会の創出（バス無料デー、バス乗車イベント等）



事業名	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
交通事業者との協議	継続的に実施						
関係機関との協議	継続的に実施						
公共交通の担い手確保・ 環境整備		求人募集や働きやすい環境整備 ※必要に応じて					
	自動運転技術の研究 ※継続実施予定						
				実証運行および本格運行 ※必要に応じて			
ミニバスの再編	再編	利用状況等の確認 ※必要に応じて見直しを検討					
タクシー活用	順次実施						
パーソナルモビリティの 導入検討				実証運行および本格導入 ※必要性に応じて			
公共交通同士や 多様な移動手段との 連携強化		鉄道駅・バスロータリーにおける整備					
	モビリティハブ整備※順次実施						
公共交通の利用促進	毎年、実施						